

年 頭 所 感

一般社団法人日本溶接協会
会長 栗飯原 周二



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、製造業の国内回帰により他業種との人材獲得競争が厳しくなる中で、広報による溶接のイメージアップを図り、若年者や女性の取り込みに注力すると同時に、外国人の支援に力を注ぎました。溶接技能者は、日本人の資格取得者は増えていませんが、外国人の資格取得者は、コロナ禍による入国規制が緩和されたため、全体的に回復基調にあります。しかしながら、円安の影響を受けてそのペースは緩やかです。現在、今後のアジアの溶接技能向上のため、JIS 評価試験をアジアに展開すべく議論を重ねているところです。

一方で、女性の溶接技能者評価試験受験者は、溶接女子拡大策を開始した 2015 年度から着実に増え、2022 年度の女性受験者は 1,000 人の大台を超えました。溶接管理技術者については、研修会受講者数は 2023 年度下期の急増で過去最多となり、新規受験者数も過去最多に迫りました。

今年は、2024 年 11 月に東北地区で開催される高校生ものづくりコンテスト全国大会から溶接競技部門が「正式競技」となることが決定しました。ご支援・ご尽力を頂いた関係者の皆様に心より御礼を申し上げます。

2024 年 4 月、大阪にて国際ウェルディングショーが開催されます。①地方色豊かなショー、②幅広い層から集客し裾野を拡大、③工業高校生や大学生などの若年者を積極的に集客、④人手不足への対応を戦略とするなどの特色を出していきます。

WE-COM (溶接管理技術者交流会) では、幅広い溶接技術の啓発活動といたしまして、溶接・接合を取り巻くトピックスを WEB マガジン形式で継続掲載して来ており、今号で第 51 号となるマガジンの発行となりました。特に、『溶接バッテン! X』は、溶接管理技術者のみならず溶接技能者の方も理解し易い内容となっています。

WE-COM マガジンの発行に加え、WE-COM 技術相談についても継続して運営しており、これらの活動を通じて当協会は、今年も各種課題の解決とサステイナブルな協会活動の確立に努め、溶接界の更なる発展に貢献します。皆様との連携が、益々重要となりますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、当協会の活動に対してご支援、ご協力を頂いている皆様方に心より感謝申し上げますとともに、本年が皆様方にとってより良い年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

